

県小学校外国語教育研究会

Step by Step

自分の言葉で

会長 高橋 典子



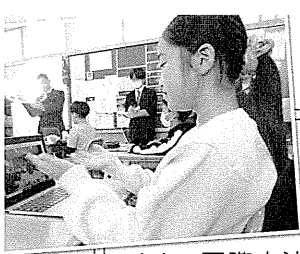
父親の影響で子どもの頃から私はけっこうな相撲ファンです。ご存じのようにお相撲さんの中には海外出身力士も多く、日本という外国に来て、まげを結び、まわしをつけるという独特の相撲の世界でよく頑張っていると思います。いつも驚くのは彼らの日本語のうまさです。活躍した力士のインタビューなどを見ていると、アナウンサーは外国語ということなど全く配慮せずに普通に日本語でインタビューします。力士たちはそれを難なく理解し、しっかりと日本語で答えるので感心してしまいます。相撲の世界には、大谷選手の通訳、一平さんのような人はいないのです。ただ、先日大谷選手もMVPのお祝いの席で自ら英語でスピーチをしたことが話題になっていました。その様子をニュースで少し見ましたが、原稿を用意していたとはいえ大変流暢な話しぶりです。とても感激しました。

数年前に比較的安価でお手軽な翻訳機が発売されたときには、もう外国語を学ぶ必要はないのではないかと、英語教師としての存在を脅かされた気分になったものです。しかし、外国語という壁を越えて真摯に自分の気持ちを伝えている人たちを見ると、やはり自分の言葉で発信することには意味があるのだと思えます。語彙や表現の少なさからもしかすると誤解を生む可能性もありますが、それは母国語でも同じなのかもしれません。大事なものは、話す（書く）側と聞く（読む）側が互いに少し歩み寄ることなのではないかと思います。同じ言葉でも優しい気持ちで受け取るか、意地悪な気持ちで受け取るかで伝わるものはずいぶん変わってしまいます。また、何度話したり書いたりしても、正確に考えや気持ちを伝えることは難しいものです。そして、だからこそ言葉を学び、よりよく伝える術を学び続けるのではないかと思います。

今年度は田川地区で研究協議会を開催していただきました。教室には真剣に言葉を選び、伝え合うことを楽しむ子どもたちの姿があり、また、事後研究会では小学校のみならず中学校、高校の先生方も一緒に熱く語り合う姿がありました。貴重な学びの機会をいただいたことに心より感謝申し上げます。今後も各地区の取組を共有することを通じ、互いの心をつなぐ言葉の使い手が育つ授業に少しでもつなげることを目指し、取組を模索して参ります。

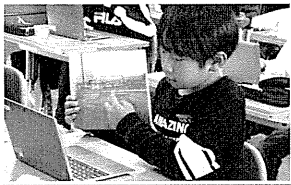
令和5年度 山形県外国語教育研究会役員名簿

会 長	高橋 典子 (山形市立蔵王第三小学校)				
副 会 長	大塚 優 (三川町立横山小学校)		富樫 和浩 (村山市立大久保小学校)		
地 区 理 事	山 形	高橋 典子 (山形市立蔵王第三小学校)		米 沢	菊地 泰志 (米沢市立東部小学校)
		高橋 真樹 (山形市立第七小学校)			佐竹 絵理 (米沢市立南原小学校)
	上 山	山口田鶴子 (上山市立中川小学校)		東置賜	鈴木久仁子 (高島町立二井宿小学校)
		小野あゆ子 (山形県立山形盲学校)			八鍬 千尋 (高島町立二井宿小学校)
	東村山	齊藤 厚志 (天童市立高嶺小学校)		西置賜	服部 宏司 (長井市立平野小学校)
		近藤 圭祐 (天童市立高嶺小学校)			渡部美千恵 (長井市立平野小学校)
	西村山	菊地 友則 (寒河江市立高松小学校)		田 川	大塚 優 (三川町立横山小学校)
		井上 桜 (寒河江市立高松小学校)			渡邊 弘晶 (三川町立横山小学校)
	北村山	富樫 和浩 (村山市立大久保小学校)		鮑 海	宮嶋 弘樹 (酒田市立黒森小学校)
		藤田 貴敏 (金山町立金山小学校)			池田 順子 (酒田市立琢成小学校)
最 上	中島 美紀 (新庄市立日新小学校)				
顧 問	畠中 雄紀 (山形県教育センター)				
監 事	山口田鶴子 (上山市立中川小学校)		菊地 友則 (寒河江市立高松小学校)		
幹 事	佐藤 大将 (山形大学附属小学校)		海谷 真記 (山形市立榎山小学校)		
	新田亜紗恵 (山形市立村木沢小学校)				



山形地区

市教委の研修会に全体で参加する形でALTとの研修会を実施したり、国際交流協会のご協力により様々な国の方からお話をお聞きしたりして、教師自身が英語や異文化に触れる体験や、村木沢小学校での授業研究を通じた研修など、今年度も充実した研修を行うことができました。1月には文部科学省視学官の直山木綿子先生をお迎えしてご講演をいただき、「言語活動」について、具体的な指導場面を通して丁寧にわかりやすく教えていただきました。中学校の先生方の参加もあり、共にたくさん考えて元気をいただける時間となりました。



(文責：山形市立蔵王第三小学校長 高橋典子)

上山地区

小・中学校合同の研修会 3回実施
研究主題

「主体的に学び、

豊かに表現しようとする児童生徒の育成」

◆第1回：6月7日(水)

テーマ「小中学校の連携」

①ALTによる言語活動(模擬授業)

②授業実践の情報交換(ワークショップ型研修)

◆第2回：8月2日(水)

テーマ「授業におけるICT活用」

①Microsoft Teamsの活用

②デジタル教科書の活用

◆第3回：11月8日(水)

市中学校英語暗唱大会 参観

(文責：上市市立中川小学校 山口田鶴子)



米沢地区

本地区では、2回の研究会を開催し、ALTとの交流活動と授業研究会を行った。

ALTとの交流活動では、ALTと英語で自己紹介をし合うことで打ち解けることができた。また、ALTが準備した英語のゲームを体験しながら、授業での活用の仕方や、自ら英語を使うことの楽しさを体感することができた。

授業研究会では、北部小学校 新井道崇教諭の授業参観及び協議を行った。協議では、特に、クイズアプリ「Kahoot!」や、動画でのモデル対話などのICTの活用が有効な手立てであったことが話題になった。協議後には、全員で「Kahoot!」の使い方を共有でき、即実践に活かせるような充実した研修となった。

(文責：米沢市立東部小学校長 菊地泰志)



西置賜地区

◇一年間の事業内容

テーマ

「Explore! 未来を切り拓く英語教育の推進

～自ら学び仲間と高め合う授業づくり～」

活動内容

8月3日(水) 専門部研修会

講話

「小学校英語の

授業づくりについて」

講師

山形大学附属小学校 佐藤 大将 先生

内容

・講師ご自身の実践を研修会参加者が児童役となり、実際の授業の形式で研修した。英語の授業づくりで大切にすることについても研修できた。

(文責：長井市立平野小学校長 服部宏司)



東置賜地区

1 研究主体：高島町学校教育センター
教科等研究会(外国語部会)

2 研究テーマ：生き生きとした
コミュニケーションを育てる授業づくり

3 実践

授業公開 期日：10月23日(月)

授業者：外国語専科 半田 由美子 講師

学年：亀岡小学校5年生・4年生

単元：Where is the post office? (5年生)

Do you have a pen? (4年生)

授業研究会 期日：12月13日(水)

授業者：芳賀弘善 教諭(高島小)

学年：高島小4年生

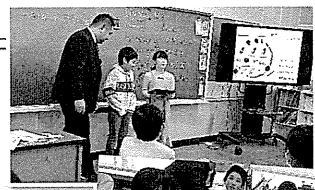
単元：What do you want?

4 成果と課題

授業公開や授業研究会を通して、外国語活動において「コミュニケーションの素地を育てる」ことと、外国語文化に

触れることで、「言いたい!」「伝えたい!」という気持ちを持たせることが重要である点を共有できた。

(文責：高島町立二井宿小学校長 鈴木久仁子)



東村山地区

小中連携研修会 3回実施

◆第1回 6月21日(水)

テーマ「中学1年生の

授業(ビデオ)の分析と話し合い」

担当：中山町立中山中学校 英語科

◆第2回 8月2日(水)

テーマ「小学校の先生にとっても、中学校の先生にとっても、informativeな研修」

講師：上智大学非常勤講師 北原 延晃氏

◆第3回 11月8日(水)

テーマ「小中連携による英語指導についての交流
～『書く』『話す』活動の工夫～」

・実践交流及び研究協議

前半…小・中学校間

後半…同校種

(文責：天童市立高橋小学校長 齊藤厚志)



西村山地区

『小中の発達段階に応じたコミュニケーション能力の育成～密接な小中連携を通して』をテーマとして、授業研究会と研修会を行った。

開催日：令和5年11月2日(木)

会場：寒河江市立陵西中学校

研究授業：阿部 祐磨 教諭

Unit4 Be Prepared and Work Together

研修会：森本 真紀 山形大学附属中学校長

「話す力と書く力を付ける授業改善の在り方
～小中連携の視点から～」

○小中の教科書の内容を比較し、発達段階に応じた授業改善を考えることができた。

(文責：寒河江市立高松小学校長 菊地友則)



北村山地区

11月7日に村山市立大久保小学校において、大久保小の元木友教諭による第5学年New

Horizon EEC Unit5 Where is the post office?の授業を公開し、地区内約20名が参加して事後研究会を開催しました。助言者の大沼直樹村山市教育委員会主任指導主事から、単元を貫く課題と本時の課題を児童が作るように工夫された単元計画が高く評価された授業でした。児童自ら作成した課題により、その後の意欲的な活動につながりました。

1月16日には文教大学教育学部の金森強教授を招聘して授業研究会を行い、金森先生のご講演を通して令和6年度北村山大会に向けて授業改善の視点を定めることができました。

(文責：村山市立大久保小学校長 富樫和浩)



最上地区

本地区では、今年度も、年2回の評議員会と県教育委員会主催の外国語公開授業研究会への参加を通し、意見交換及び研修を行いました。公開授業研究会では、協議の柱を「言語活動を通じた指導の充実について」として、研修を深めることができました。

◆公開授業研究会

11月14日(火)

◆授業者

鮭川村立鮭川小学校

後藤 優華 教諭

◆単元名

6年 Unit8 What do you want to be.

◆指導・助言

CALA代表 阿部フォード恵子氏

(文責：金山町立金山小学校長 藤田貴敏)



田川地区

◆令和5年7月31日(月)◆

田川地区

英語授業づくり研修会

【場所】三川町テオトル

【講師】山形大学附属小学校 佐藤 大将 教諭
鶴岡市教育委員会 本間 紘 指導主事

【内容】2人の講師のかけ合いによる
ワークショップを行った。

◆令和5年11月9日(木)◆

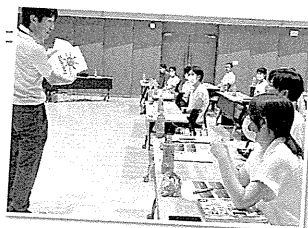
山形県小学校外国語教育研究協議会田川大会

【場 所】鶴岡市立朝陽第一小学校

【授業者】朝陽一小 児玉 里緒 教諭

【内 容】6年生の授業公開と事後研究会
事後研での参加者の熱気が素晴らしかった。

(文責：三川町立横山小学校長 大塚 優)



飽海地区

■令和5年12月5日(火)

酒田市教研 外国語部会授業研

【場所】酒田市立松原小学校

【内容】4年生の外国語活動 (Unit7)

○佐藤直郷先生とMcPhedrain Jeydenによるタブレットを使って、好みのピザを作り、ピザに名前をつけ紹介する活動。

■令和5年12月15日(火)

県 小中高を通じた英語教育強化事業

【場所】酒田市立平田小学校

【内容】4年生の外国語活動 (Unit7)

○子ども達のお店でWhat do you want?を使いピザのトッピングを買い、スペシャルピザを作り紹介し合う佐藤穂奈美先生の授業。

(文責：酒田市立黒森小学校長 宮嶋弘樹)



第4回 山形県小学校外国語教育研究協議会

田川大会

三川町立横山小学校 校長 大塚 優

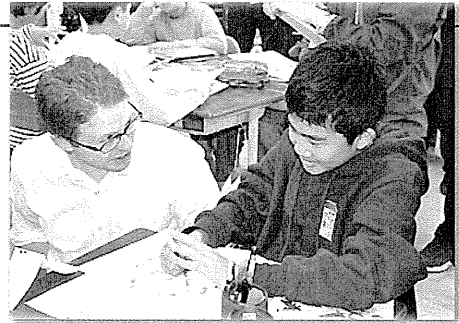
「自ら学び、豊かに表現する子どもの育成～子どものWANTを引き出す外国語の授業づくり～」を研究主題として、11月8日(水) 鶴岡市立朝陽第一小学校を会場に、第4回山形県小学校外国語教育研究協議会田川大会を行いました。

当日は、鶴岡田川地区のみならず県内各地より60名近い参加者があり、鶴岡市立朝陽第一小学校に参集しての公開授業研究会と事後研究会を行いました。

今回公開した授業の概要は、以下のとおりです。

公開授業

- 授業学年：6年 授業者：児玉 里緒 教諭
- 題材名「ブロック先生、セリーン先生に紹介したい！
僕の、私のすてきな人！」
- 授業の概要：授業者より(抜粋)



本校研究主題「自ら学び、豊かに表現できる子どもの育成」をふまえ、外国語科では、他者を意識して内容や表現方法を考え、自分の考えを伝える力を身につけたいと考えた。本単元では、ALTがこれからは鶴岡にいたいと思えるように、地域のすてきな人を紹介することを目的に活動した。何のために・誰に・何を伝えるのかと、課題を明確にすることが、「伝えたい！」という気持ちを大きくしていくのだと感じた。ALTのニーズを知るために、ALTに質問することで、相手の興味関心を知り、伝える内容や方法を吟味することができ、「豊かに表現できる子ども」につながると考えた。Yes/Noフローチャートを生かして、相手に自分の想いや意図が伝わるように、真摯に受け答えをする姿が見られた。相手の



ニーズをもとに内容を考えるという活動は、本単元だけでなく、1年を通して取り組んできた。英語という言葉や教科にとどめず、世界の人々と多様な関わりをするためのtoolとして使い、児童自身の人生を豊かにするために、これからも学び続けてほしい。英語が好きな児童を育成していけるよう、私自身が英語の良さや魅力を発信できる教師でありたい。

◆おわりに◆

事後研究会では、山形県立長井高等学校 青柳 敦子 校長先生から「鶴岡から発信する英語教育の未来」と題し、“つなぐ”をキーワードにした講演をいただきました。参加者で創り上げるワークショップの熱気も素晴らしい、山形県の未来に繋がる研究会であることを実感しました。

今回の研究協議会で得た成果を十分に生かし、これからの研究実践に取り組んで参りたいと思います。ご参加いただいた皆様に心より御礼申し上げます。